



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.113 2023年1月号

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
TEL 086-444-3212
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

一般社団法人
岡山県老人保健施設協会

ROKEN STUDY

◆医療保険から介護保険への転換
◆その中間期を担う老健が果たす役割はますます重要

介護が必要な住民のQOLを上げているのか？



病院長・老健あかね
管理者 鍛本真一郎

【人が人を見る最高の技術集団になる】

このタイトルが私たちの「なりたいたい姿ービジョン」です。

患者さん・家族は満足を買うためにリハビリを求めま

す。

満足を提供できたか測る物差しを「QOL」といいます。

日本語にすると「生きてて良かった」です。

この物差しで良い結果が得れば私たちのビジョンは実現したことになります。

このあとの紙面でQOL研究と実践を紹介します。

なによりも「人が孤立せず健やかに暮らす社会に貢献する」ためです。

ADLに必ずしも比例しない人への満足度改善

「脳梗塞で右側の手足の動きが悪くなってしまった！」

もし皆様がこうなったら何を考えますか？「リハビリをして元のように動けるように頑張る！」と思うでしょうか。当院には、上記のような方が

懸命にリハビリに励んでおられます。しかし中には機能障害が残る方もおられます。例えば、「右の手足が少し動くようになったが、歩くには杖が必要となった。」どう思われるでしょうか？

「杖は使いたくない。耐えられない」「命が助かってよかった。杖を使えば外出もできる」など様々だと思います。この違いはなぜ生まれるのでしょうか？

この違いの原因が「価値観」です。これは主観的で、他人が介入するのは簡単ではありません。生活の質(QOL)は本人にしかその良し悪しは評価できません。私たちはリハビリによる身体機能の向上だけでなく、対話を重ね、患者様の価値観を理解し、患者様が大事だと思ふ生活を実現

機能低下は残っても短リハの介入で暮らしの満足度は改善

短時間通所リハビリの利用者を対象にQOLを数値化した研究を行い、先月は学会発表を行い、今回は岡山QOLネットワーク勉強会にて活動報告をしました。

特に利用者様の中でも半身の麻痺の方を紹介しました。「何も出来ない」と消極的な方に、日常の中でリハビリとなる「ご主人の弁当作り」を目標とし、6ヶ月後には調理も行い、実際に 弁当を作りました。身体機能に大きな変化はありませんでしたが、発言は「何でもできる」「褒め

られると嬉しい」などの前向きになり、QOLの数値も上昇しました。今回の研究を通して身体機能の向上のみが利用者の自由度を拡大しQOLを向上させるのではなく、心の変化がQOLに大きく影響することを改めて感じました。今後も研究を続け、目には見えないQOL学を進展させ、日々の介入にも活かしていきたいです。

(コープリハビリテーション病院 短時間通所リハビリテーション 責任者 岡野泰樹)

小さな価値観の変化で 家庭内の役割を取り戻す

たとえ半身が不自由でも思った以上に出来る事はある

脳出血で左半身麻痺になり2年半。この私が…と、当時は非常に落ち込んだものですることを目標にしています。価値観を理解するには、患者さんの精神面、もともと社会との関わり方を正しく評価することが重要であり、QOL学はこの評価に役立ちます。医療者と患者様が同じ目標を共有し、言語化するこ

とが重要です。(倉敷中央病院 救急科 部長 田村暢一郎)

す。ただひたすらに「回復」を目標にリハビリを続けました。「障がいが残る」という言葉に抵抗を感じていたのだと思います。塾は対面でないといけない、家事は自分が全部しないといけないと思込んでいたこともありましたが、実際は、入院中でもLINEを活用して就職前に悩む学生と連絡が取れ、退院1週間後に塾は再開しました。家事に関して夫の協力があれば楽に出来る事が分かりました。以外と色々な事が出来る

と知りました。私自身左手の不自由を受け入れ、家族の理解や周りの応援を得ながら「障がい」と共にそれに見合った生活をし、更により良い形を目指してできる努力をすればなんとかなる、そんな気持ちで日々を過ごせるようになりました。(利用者A子・63歳)



運動中の筆者

研究方法

対象患者：コープリハビリテーション病院通所リハ利用者のうち、セラピストがQOL質問票を用いた生活分析によりメリットが得られると判断した利用者

介入方法：SF-36の8つの下位尺度ごとに利用者の生活を再評価し、課題を抽出した。その課題を解決する介入方法をセラピスト、医師、利用者本人でカンファレンスを行い、実行した

アウトカム：介入直後、介入3か月後、介入6か月後のSF-36スコア

研究デザイン：単施設前向き観察研究



岡山県内の医療機関が集まる勉強会にて発表する筆者(右)



入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

倉敷中央高校介護実習



折り紙にて利用者さんとコミュニケーション

10月18日～11月7日までの期間、倉敷中央高等学校福祉科2年生3名が老健あかね入所施設へ実習に来ました。2年生ともなればケアプラン立案までの過程を臨地で学びます。

ケアプランを完成させるために、コミュニケーションはとても重要ですが皆さん積極的に利用者さんに関わっていただきました。コミュニケーションが困難な方にも臆するこ

となく挑戦されている姿に感心しました。受け持ちの利用者の方ともスムーズに信頼関係を築くことができたと充実した3週間だったと思います。実習終了後、届いたお手紙には「職場の雰囲気が良い、多職種連携がともしつかりとされている。」との嬉しい感想を頂きました。

(老健あかね
介護福祉士 篠岡美代子)



シーツ交換の体験

チャレンジワーク

11月15～17日に倉敷市立福田南中学校から3名の生徒さんがコープリハビリテーション病院と老健あかねで職場体験学習を行いました。

初めての職場体験で緊張した様子でしたがスタッフや、患者様にしっかりと挨拶ができてコミュニケーションがとれていました。注射器を使った体験では「してみたい」と積極的な言葉も聞かれました。

体験を通して若い世代の人に医療・介護の仕事に興味を持ってもらいたい夢に繋がるきっかけになればと思います。

初めましての職場体験で緊張した様子でしたがスタッフや、患者様にしっかりと挨拶ができてコミュニケーションがとれていました。注射器を使った体験では「してみたい」と積極的な言葉も聞かれました。



リハビリ交流集会 その2

岡山県民医連リハビリ新人発表会が開催され、2名で発表に臨みました。



新池かおり

アルコール依存症の妻と重度脳梗塞の夫の夫婦で入院していた症例について報告しました。2人はまた家で一緒に暮らすことを希望されました。そのためには、何が足りないかお互いに気付く必要がありました。そこで妻は夫を、夫は妻を作業種目として介入しました。夫婦合同でリハビリを行ったり、毎日看護師と共に夫のオムツ交換の介護指導を妻に行ったりした中で、「このままではまずい」と感じ行動に変化が見られました。そして夫は介助量が軽くなり、妻も夫の介助ができるようになりました。また、冷

多職種間で無気肺と褥瘡の改善

「日本慢性期医療学会で発表」

11月17～18日に、京都で行われた日本慢性期医療学会にて、「左無気肺であった意識障害患者に対して腹臥位を含めた体位ドレナージを行い肺拡張を認めた1例」の発表を行ってきました。



日本慢性期医療学会会場入口にて 筆者(左)と田村医師

病棟の勤務は24時間、毎日スタッフは変わりますが、その患者様に必要な対応は変わりません。誰でもいつでも、同じように看護を継続して行っていく必要があります。

今回は、看護師、介護士、リハビリスタッフと多職種間で、無気肺と褥瘡の改善という問題を共有し、その事に対する対応の方法を検討・実

(コープリハビリテーション病院 4階病棟看護師 小池潤二)

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院 3階病棟 介護福祉士 蔵増由佳

蔵庫やIHなどの生活用品を調達して何度も自宅リハビリを行い、困難だと思われた2人での自宅退院ができました。この症例から、作業療法士として重要な視点や多職種連携の大切さ、回復期リハビリテーションにおける在宅支援の難しさや面白さを感じることができました。

(コープリハビリテーション病院 リハビリテーション科 作業療法士 新池かおり)

診療表		コープリハビリテーション病院		老健あかね	
外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]		老健あかね [086-446-6541]		訪問リハビリ	
診療時間	午前 9:00～12:30	午後 14:30～15:00	午後 9:00～16:50	短期集中健康アップ教室 9:30～11:00	通所リハビリ 9:00～16:00
月					
火	渡辺 (予約制)	西表 (予約制)			
水	飯塚				
木	太田	西表 (予約制)			
金	香口				
土					

医療福祉相談・連携室	
相談受付時間	平日 9:00～12:00 13:30～16:30
	土曜日 9:00～12:00
	日・祝日 休み



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00～16:30
土曜日 9:00～12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。